

ICTの活用と
情報モラルを学ぶ



7月1日、市中央公民館で「ジュニアICTリーダー育成研修会」が行われました。これは小学5年生から中学3年生までを対象とした研修会で、学校や家庭でのタブレット端末の活用方法や情報社会で求められる情報モラル等を学ぶもの。参加した子どもたちはタブレット端末を使ってオリジナル動画を作成し、音楽やテロップを活用しながら自分の紹介したいものを表現していました。

拉致問題を理解し
風化させない



6月23日、鹿屋中学校で北朝鮮による拉致被害者家族の講演会が行われました。拉致被害者である市川修一さんの兄・健一さんとその妻・龍子さんが講演を行い「拉致問題を風化させないためにも、若い世代に関心を持ってほしい」と呼び掛けました。講演を聞いた生徒たちは拉致問題について理解を深めるとともに、講演で語られる想いに真剣な表情で耳を傾けていました。

地元農畜産物を
高校生たちが堪能



6月17日、肝属中央家畜市場(田崎町)で、JA鹿児島きもつき管内の高校生を対象としたバーベキュー大会が開催されました。これは、同組合合併30周年記念事業の一環として行われたもので、高校生や関係者ら400人以上を招待。会場内には特設のバーベキューコンロを設置し、地元産の牛肉や豚・鶏肉などが提供され、高校生たちは焼肉をおいしそうにほおばっていました。

市ホームページに
ほかの写真も掲載中!

Hot News

ホットニュース

かのやのホットな話題をお届け!

ママさんバレー
全国の舞台へ



7月5日、ママさんバレーボールチームYAMATOが市役所を訪れ、5月に開催された「第54回全国ママさんバレーボール大会鹿児島県予選大会」での優勝を報告しました。松脇江梨香キャプテンは「家族の応援もあり、結果を残すことができた。めったにない機会なので、試合を全力で楽しみたい」と意気込みを語りました。同チームは、8月24日から奈良県で開催される全国大会に出場します。

地域で見守り
明るい社会を



7月3日、市役所で「第73回『社会を明るくする運動』のメッセージ伝達式及び出発式」が行われました。これは、罪を犯した人の更生について理解を深め、犯罪や非行の無い明るい社会を目指す全国的な運動。当日は市長へのメッセージ伝達の後、市内商業施設で啓発活動を行いました。黒木次男肝属保護区保護司会会長は「生きづらさを抱える人に気付き、地域で支えることが重要」と語りました。

県大会で2少年団が
上位大会に進出



5月14日と27日に開催された「全日本・西日本・全九州小学生ソフトボール大会鹿児島県予選会」で準優勝し福島県での全国大会に出場する西原台ソフトボールスポーツ少年団と、3位に入賞し宮崎県での西日本大会に出場する下名ソフトボールスポーツ少年団が市役所を訪れ、大会への意気込みを語りました。

高校総体ボート競技
高校生たちが躍動



6月17日・18日、輝北ダム特設ローイングコースで、燃ゆる感動かごしま国体ローイング競技のリハーサル大会として「第58回全九州高等学校ボート競技大会」が行われました。2日間で約1,600人が来場し、九州各県の強豪校が参加するなか鹿屋工業高校が男子ダブルスカル、男子シングルスカルで第2位に輝くなど熱いレースが繰り広げられ、会場は大きな声援に包まれていました。



夏季観光施設開設式
海での安全を祈る

7月7日、浜田海水浴場で「夏季観光施設開設式」が行われました。当日は、地元町内会や関係者ら約20人が参加し、浜田・高須海水浴場と浜田キャンプ場の安全祈願祭を実施。同施設は8月31日まで開設されます。



海開きに向けて
海岸をきれいに

6月29日、高須・浜田両海水浴場で海岸清掃が行われました。当日は県建設業協会鹿屋支部青年部会や県建築協会鹿屋支部青年部のほか地元町内会など約70人が参加。重機を使って漂着ごみの清掃や雑草の処理等を行いました。



美しい海岸線を
未来に引き継ぐ

6月25日、高須・浜田海岸等で「錦江湾クリーンアップ作戦・夏の部」が開催され海岸清掃を行いました。清掃活動には地元町内会など約350人が参加し、海岸に漂着したプラスチックごみや流木などを拾い集めました。



圧倒的な迫力の
絵画の世界へ

6月24日から7月9日まで、リナシティかのやで「鹿屋100号絵画展」が開催されました。これは大型のキャンパスに描かれた絵画を展示する本格的な絵画展。参加者は大作に足を止めながら、真剣に見入っていました。



園児たちがブルーベリー
をかごいっぱい

6月23日、ブルーベリー観光農園ワダ(東原町)で開園式が行われました。当日は、ひばり保育園(串良町細山田)の園児たちも参加し、大きく実ったブルーベリーの実を夢中で摘み取っていました。同園は8月上旬まで開園しています。



海岸のゴミ拾いから
海の環境問題を学ぶ

6月11日、コクサおおすみ海の学校で「錦江湾の未来と楽しみかた」講座の第1回目が開催されました。参加した小学生17人は、海岸に漂着したゴミや貝殻などを収集し、ゴミの種類や生態系に与える影響などについて考えました。